

体験して 繋がる絆

5月18日、(社)川越青年会議所と共催で「みんな集まれ！未来へ繋げ！繋がり祭典2014」が開催されました。人とひとが繋がる絆の大切さをテーマにさまざまな催しが行われ、会場となった川越水上公園は多くの人でにぎわいました。「繋がれ！かわごえ運動会！」では、この日のために練習を重ねたチームが「ドッジボール」や「ながなわ跳び」などで対決。選手宣誓を務めた石川慶蔵くん(小学5年生・寺山)は「チームのみんなと力を合わせて、一緒に運動できて楽しかった」と充実した表情で話してくれました。



目標に向かって「そ〜れっ」



巨大シーソー。力を合わせて
バランスをとるぞ！



オーケストラの演奏に聞き入ってしまう人も



ふおとニュース



身近な科学

5月17日に大東市民センターで「おもしろ実験室 ブーメランを作って遊ぼう」が行われました。ブーメラン作りをとおして、揚力発生の基本構造を体験学習



完成目指して、一緒に作業

してもらおうのが今回の目的。講師の1人、藤田義人さん(日東町)は「簡単で楽しいことから、科学へ興味をもってもらいたい」と講座への思いを話します。羽の曲げ方のポイントなどを教わりながら、子どもたちは一枚の厚紙をブーメランに変身させていきます。



完成後、見事に弧を描いて戻ったときは大喜び。「今度は、外で思いっきり飛ばしてみたい」と笑みいっぱいでした。

ラジオ体操で健康づくり

ラジオ体操をきっかけに、運動習慣を身に付けてもらおうと行われた「めざせ！ラジオ体操マスター講習会」。5月14日、会場となった川越運動公園総合体育館には、200人を超える参加者が集まりました。講習会では講師の指導のもと、2人1組になって、正しい体の動かし方を互いに確認していきます。参加者の清水安子さん(石原町2丁目)は「かなり良い運動になりました。正しい動きを意識して体操すると、筋肉をしっかり使っているのが分かります」と顔をほころばせていました。



講師は、全国ラジオ体操連盟・副理事長の青山敏彦さん(写真右)、川越市健康推進アドバイザー(元NHKテレビ・ラジオ体操アシスタント)・小野梨沙さん(写真中央)